

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

トビイロウンカ第三世代幼虫の防除の徹底について

— 9月中旬以降の発生に注意が必要です —

普通期水稻でトビイロウンカの発生が続いており、今後、9月中旬以降に若齢幼虫が多発生し被害を生じる恐れがあります。については、以下を参考に防除を徹底してください。



記

1. 発生の現況等

- (1) 9月6日に実施した普通期水稻(20圃場)での調査では、前回、8月25日の調査と同様に、各地域のそれぞれの品種で発生圃場が認められる(表1)。なお、調査圃場以外の一部圃場では本虫による坪枯れが確認されている(写真1)。
- (2) 9月6日の調査では主に老齢幼虫及び成虫が確認され、これらはこれまでの発生予想パターン図で示した7月12日飛来虫より約1週間早い7月6日頃に飛来した第二世代と考えられる(表1、図1)。



写真1 トビイロウンカによる坪枯れの発生状況(平成29年9月4日撮影)

また、佐城普及センターが9月4日に現地圃場で行った調査では、成虫が多くみられていることから、7月上旬頃の飛来虫が巡回調査圃場以外にも広く発生していると考えられる。

- (3) これらのことから、6月24日及び7月12日の飛来虫に加え、7月6日頃に飛来したウンカが急激に増加し、現在、多発生になっていると考えられる。

2. 今後の発生予想

- (1) 8月下旬に薬剤防除が実施された圃場においても、成幼虫の発生が確認されている(表1)。また、現在、発生している雌成虫は増殖力の高い短翅の割合が高く、次世代の幼虫が大量に発生すると予想される(表1、写真2)。
- (2) 7月6日飛来虫では9月9日頃から16日頃にかけて卵期間に当たり、見かけ上発生が減少する圃場もあるが、今後、7月6日飛来虫の第3世代幼虫が9月4半旬以降に発生し、さらに7月12日飛来虫の幼虫も9月6半旬以降に発生すると予想され、被害を生じる恐れがある。

3. 防除対策

- (1) 薬剤による防除適期は、幼虫ふ化揃い期である。
- (2) トビイロウンカの発生状況は、圃場の外からの観察では確認できない。また、移植時期やこれまでの防除の違いによって、圃場毎に発生状況は大きく異なる。
- (3) 8月に防除を行った圃場においても、予想される発生パターン(図1)を参考に、9月中旬以降に必ず払い落とし法によって各圃場の発生状況を確認し、若齢幼虫が大量に認められた場合には、直ちに薬剤防除を実施する。
- (4) 本虫は株元に生息しているので、薬剤は株元まで十分かかるよう丁寧に散布する。

(5) 薬剤散布の際には、周辺作物への飛散防止に努めるとともに、収穫前使用日数及び使用回数等の農薬使用基準を遵守する。

表1 普通期水稲におけるトビロウカの発生状況(25株調査)

調査地点	8月25日調査				9月6日調査					調査品種		
	発生株率	最高頭数		幼虫の齢	発生株率	最高頭数		幼虫の齢	調査個体数 短翅/長翅		短翅雌成虫率(%)	
		成虫	幼虫			成虫	幼虫					
佐賀市東与賀町	%	頭	頭	中齢	%	頭	頭		1/0	100	夢しずく	
"	4	1	1	中齢	8	1			2/0	100	夢しずく	
"	12	1	3	中齢	12	1			2/7	22.2		
"	0				40	3			5/0	100	さがびより	
"	24	1	3	中齢	24	1	1	老齢			さがびより	
武雄市	0				0				—	—	さがびより	
"	4		1	中齢	0				—	—		
"	48		6	中齢	64	4	4	老齢	23/2	92.0	さがびより	
"	0				0				—	—	さがびより	
白石町	24		2	中齢	0				—	—	ヒノヒカリ	
"	0				0				—	—		
"	0				8	1	1	老齢	1/0	100	夢しずく	
"	8		1	中齢	32	2	2	中～老齢	8/1	88.9	ヒノヒカリ	
鹿島市	※	24		4	中齢	24	3	1	中齢	7/1	87.5	さがびより
"	※	8	1	1	中齢	8	1	1	中齢	2/0	100	さがびより
"	※	8	1		12	1	1	老齢	1/1	50.0	さがびより	
"	※	20		2	中～老齢	4	1		1/0	100	さがびより	
嬉野市嬉野町	※	76	1	20	中～老齢	40	10	1	老齢	14/4	77.8	さがびより
"	※	60		16	中～老齢	32	4	2	中齢	7/0	100	さがびより
"	※	56	1	30	中～老齢	76	4	3	中～老齢	34/0	100	さがびより
"	※	60	4	3	中齢	92	8	3	中～老齢	56/20	73.7	さがびより
平均短翅雌成虫率(%)										86.1		

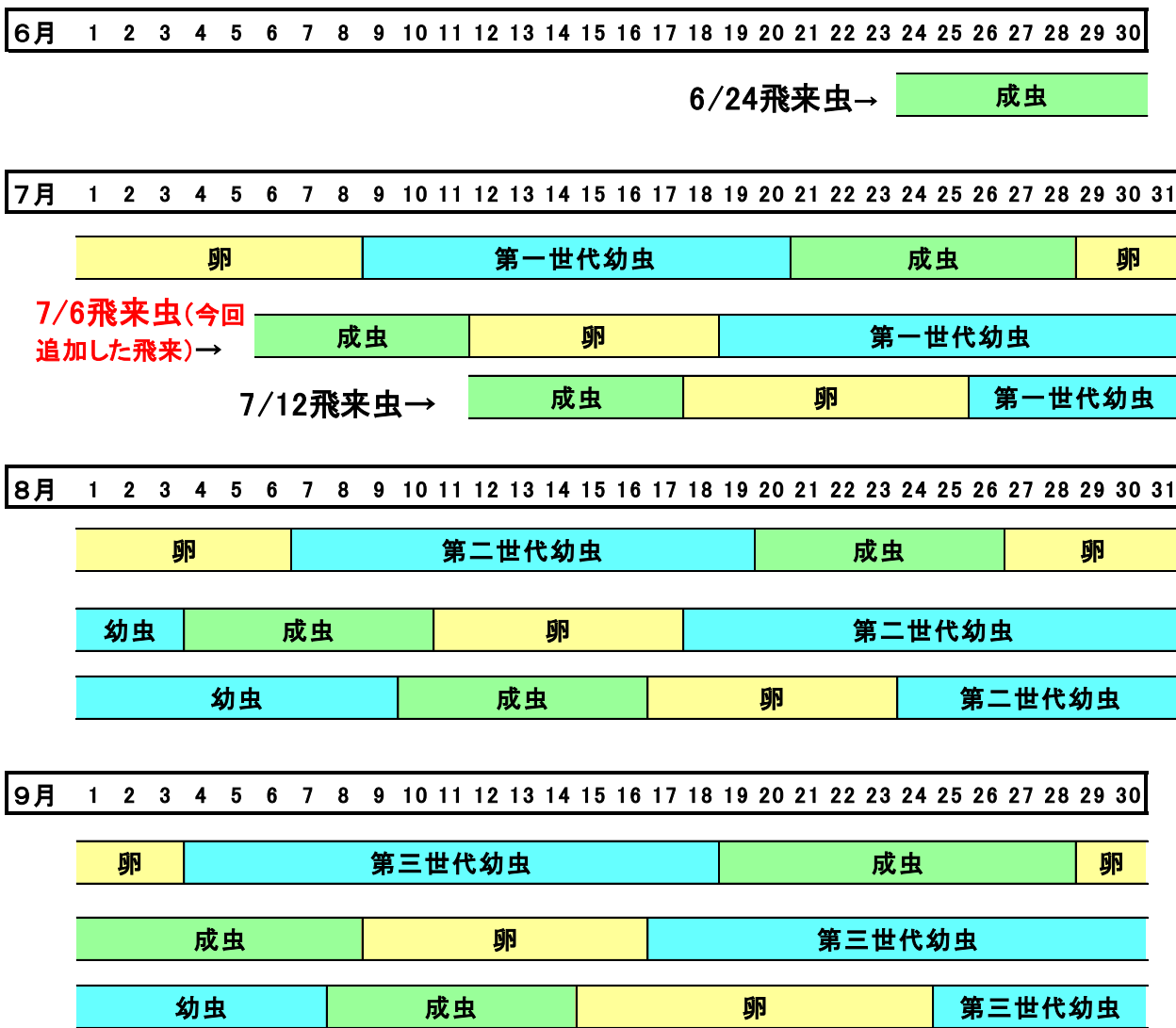
※) 嬉野市圃場が8月23日に、鹿島市圃場が8月31日に共に無人ヘリでスタークル液剤10が散布された。その他の地区においても薬剤防除は実施されているが、詳細は未確認である。



写真2 トビロウカ短翅雌成虫
(平成 29 年 9 月 4 日撮影)

図1 トビイロウンカの発生予想パターン

(平成29年9月8日、佐賀県農業技術防除センター作成)



注1 6月24日、7月6日及び7月12日の飛来虫を起点として、有効積算温度と佐賀市川副町(農業試験研究センター内)の日最高気温及び日最低気温(9月7日までは今年のデータ、9月8日以降は平年値)を基に、その後の発生を予測した。

注2 8月30日作成までのパターン図では、7月2~3半旬に断続的にみられた飛来虫の代表例として7月12日飛来虫を示していたが、これでは説明できない発生が認められたため、今回7月6日飛来虫を加えた。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部
 〒840 - 2205 佐賀市川副町南里 1088
 TEL (0952) 45 - 8153 FAX (0952) 45 - 5085